

研修事例

研究開発者
育成

結城紬後継者育成研修

支援先

結城紬製造業

【内 容】

本研修は、平成8年度から茨城県の地場産業である結城紬の機織後継者の育成を目的に実施しています。結城紬産地は分業体制のため、通常、機の織手が染色や下ごしらえ（機織りをする前の準備工程）を行うことはありませんが、本研修では機織技術を中心に全工程が理解できる内容となっています。

本年度は3名の研修生を受け入れており、約1年間の研修修了後は県内の製織企業に所属し、産地の即戦力として結城紬の生産に携わっていくことになります。

研修修了生は、茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に毎年数多く入選するなど産地内でも高い評価を得ています。

また、織手として経験を積んだ修了生のなかには、伝統工芸士の認定を受けたり、結城紬の生産に携わりながらオリジナルの結城紬や小物製品の開発に取り組むグループ等もあり、産地の活性化につながる活動として期待されています。

表 1 平成29年度 研修カリキュラム

	期 間	内 容
基礎研修	4～5 月	座学 機結び 糸取り等の基礎実技
第1ステップ	5～7 月	帯製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第2ステップ	8～12月	着尺無地製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第3ステップ	12～3月	着尺無地又は縞製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
縞製織実習	1～3 月	100帯状亀甲縞製織（※第3ステップと並行で実施）



(1 研修作品 2 糊付け 3 糸さばき 4 掛け糸かけ 5 染色 6 先分け 7 地機織り 8 本糊付け)

図 1 研修風景

基礎となった事業

平成 29 年度 人材育成事業

現在の担当部門

紬技術部門

部 門 長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

嘱 託

渡邊 直子